

キウイフルーツの果実糖度と樹体栄養および
土壌化学性との関係について

川根徹也・末澤克彦

キウイフルーツの収穫時の果実糖度と、樹体栄養条件および土壌条件との関連を検討するために現地調査を行ったところ、次のような結果が得られた。

1. 収穫期(10 月下旬)の葉内窒素含有率と追熟後の糖度との間には、有意な負の相関関係が認められた。
2. 8 月中旬において、土壌全窒素と葉内窒素含有率のともに比較的低いグループを I, ともに比較的高いグループを II, 土壌全窒素は比較的低いが葉内窒素含有率は比較的高いグループを III と分類すると、I のグループは II, III のグループに比べて土壌硝酸態窒素の値が低かった。また、II のグループは I, III のグループに比べて有機炭素および可給態窒素の値が高かった。
3. 8 月中旬の土壌硝酸態窒素と収穫時の葉内窒素含有率との間には、比較的高い相関関係がみられた。さらに、8 月中旬において、可給態窒素と土壌硝酸態窒素との間に比較的高い相関関係がみられた。
4. 8 月中旬において、葉内窒素含有率と葉色(グリーンメーター値)との間には、比較的高い正の相関関係がみられた。また、8 月中旬と収穫時(10 月下旬)の葉内窒素含有率の間にも高い正の相関関係がみられた。
5. 8 月中旬において、土壌硝酸態窒素と土壌 EC との間、および可給態窒素と静置培養前後の EC の差の間に、比較的高い相関関係がみられた。